

令和5年第5回（9月）大町町議会定例会 一般質問一覧

令和5年第5回（9月）定例会において、次の質問をされる予定です。

午前9時30分から始まります。

月日	順 番	発言者氏名	質 問 事 項
9 月 13 日 (水)	1	山下 淳也	1. ふるさと納税改定について (1) 10月に行われる、ふるさと納税制度の改定に伴い、これまでとどう違うのか。改定後はどう対応していくのか (2) 地場産品、地元加工品の商品開発についての取り組みは 2. 危険空き家について (1) 危険空き家の個数は (2) 所有者の把握は (3) 町外所有者への伝達手段は
	2	北沢 聡	1. 移住定住をはかるため、各種支援情報の発信の強化について (1) 大町町への定住促進の政策をより多くの方に使っていただく為に、現在の各種支援情報の広報により力を入れてはどうか (2) HP上で告知などをされているが大町町を移住先として最初から特定されている方以外には周知がされないのではないかと (3) ラジオを使って移住情報の発信、広報、番組制作など行ってみたいかどうか
	3	三谷 英史	1. 旧電車道の旭町トンネルの安全性について (1) これまでの検討の経緯 (2) トンネル内部の現況 (3) 調査内容 (4) 調査結果を受けての対応 2. 中学部活動の在り方について (1) 現在実施されている部活動について、各部活動ごとに外部指導者の活用等の指導体制について具体的に伺いたい。 (2) 地域移行に向けた検討・審議の状況及びその方向性について伺いたい。問題点、障害となる事項があれば含めて伺いたい。 (3) 今後の地域移行に向けて、必要とする指導者が確保できるのか。現在の指導者は高齢の方も多く早急に対応する必要があると考えるが、その後継者の養成、確保について、どのような考えを持っているのか伺いたい。 (4) 公教育の中での部活動の位置づけについて、どのような考えを持っているのか伺いたい。 ア 現在の部活動 イ 現在の外部指導者による活動は、部活動として位置づけられるのか ウ 地域移行された場合の学校との係わりについて

9 月 14 日 (木)	4	三根 和之	<p>1. 安全・安心のまちづくりについて</p> <p>(1) 白石町では、緊急自然災害防止対策事業債を活用してポンプを設置されている。大町町もこの事業を利用して、現場樋管および八ツ江樋管にポンプの設置をしていく考えはあるか</p> <p>2. 特産品の開発と6次産業化の支援について</p> <p>(1) 大町町第5次総合計画のP85には、新規導入作物の産地化や、6次産業化を支援すると記載されている。この構想内容について聞きたい。</p> <p>ア 取組みの内容について</p> <p>イ 計画期間について</p> <p>ウ 補助制度を利用する予定があるのか</p> <p>エ モデルとしている地域があるのか</p> <p>オ 支援体制をどのように構築していくのか</p>
	5	江口 正勝	<p>1. マイナカードとコロナワクチンの現状(進捗)について</p> <p>(1) 大町町の進捗状況</p> <p>(2) マイナカードとコロナワクチン接種の目的</p> <p>(3) 国が進める行政(国策)を地方が代行する「機関委任事務」の現状について</p> <p>2. 生活支援者への支援の拡大について</p> <p>物価高の厳しい現状を、どう生き抜いたら良いのか</p> <p>(1) 月々いくら収入があったら生活できるのか</p> <p>(2) 町の「食事券配布」や「子ども手当の助成」は、大いに評価するが、的を絞って対応できないか</p> <p>(3) 憲法第25条の精神は、守られているのか</p> <p>3. 町長おまかせ予算の実績について</p> <p>(1) 町長は、「町長対話室」を開いて町民の切実な相談(陳情)に応じておられる。どういう相談(陳情)を受けて、それをどのような形で「町長おまかせ予算」に活かされて来たのか、その実績を知りたい。町民からも「おまかせ予算の中身を知りたい」という声が上がっている。</p> <p>4. 前回議会での質問のその後について</p> <p>(1) 「大町ふるさと館」の利用改善の取り組みについて</p> <p>5. 町道城山・浦田線の制限速度と道路標識について</p> <p>(1) ひじり乃湯から川崎整形外科までの道路(町道城山・浦田線)の制限速度と道路標識について</p>
	6	藤瀬 都子	<p>1. ゴミ問題を考える</p> <p>(1) 大町町、ごみ減量化(ごみの分別)は出来ているか</p> <p>(2) 乾電池、リチウムイオン電池等があり処分方法も違うと思うが、きちんと処理されているか</p> <p>2. 子どもも大人も目を守ろう</p> <p>(1) 3歳児健診で近視の早期発見を</p> <p>(2) 小中学生の視力1.0未満が増えていると考えられるが</p> <p>(3) 40歳を過ぎると眼底検査が必要と考えるが</p>